

特集II

クロレラ、スピルリナ

「COGFパウダー」の提案強化

サンライフ

サンライフ(名古屋市中区)は、クロレラ、スピルリナを原料とした「COGFパウダー」の提案強化を...

ユーグレナ由来パラミロン

機能性表示対応原料 神鋼環境ソリューション

神鋼環境ソリューション(神戸市中央区)は、ユーグレナ由来のパラミロンを原料とした「EOD-1」の提案強化を...

スピルリナ

免疫への有用性も明らかに

東洋酵素化学

東洋酵素化学(千葉県浦安市)は、スピルリナを原料とした「スピルリナパシフィカ」の提案強化を...

ビタミン、ミネラル、葉緑素、クロレラエキスなど豊富な栄養素をバランスよく含んだ高品質原料。無添加直打錠も可能なため、天然由来のマルチビタミンとしてヘルスサプリメントなどに数多くの商品に採用されている。最近では、「ビタミンD」を加えた「COGFパウダー」に加え、業界初となる高濃度品「W-1000」を近生ライオンアップに追加、台湾で実施されている「COGF



EOD-1 product packaging showing the brand name and product details.

パウダー」の研究では、免疫調整機能、腸内環境改善などを確認。アンチエイジング作用に関する研究も進められており、コラーゲンの併用など美容向けにも提案されている。

クロレラ原料、スピルリナ原料を、GMP認証(台湾TQIP)を取得した培養工場を製造...

品質重視の顧客から支持され、海外向けの輸出商品での採用も増えている。

「EOD-1」は、特許技術による独自の培養方法で、ユーグレナだけが持つ栄養成分「パラミロン」を、ユーグレナ(一種を70%以上含有している)と、光合成をさせないこと、金色の粉末になっていることも特徴の一つである。

パラミロンは、腸管で吸収されず腸管粘膜のセンサー(腸ソボ)に直接作用することで、免疫力の向上や不安感からの精神的疲労感の軽減に寄与すると推測されている。

「スピルリナパシフィカ」の投与群では同じ腫瘍に対して、免疫作用を示したが、これは腫瘍に特異的なリンパ球誘致を促していると考えられる。また、メカニズムの存在が明らかになった。最終的に腫瘍内血管新生抑制、腫瘍への栄養供給の減少、CD4陽性リンパ球、CD

表が機能性表示食品の届出が受理され、今年10月に、機能性表示食品の審査成分として、「EOD-1」の「不安感」とは、精神的疲労感の新しいタイプなどにも確認。これらは、多様な生理活性作用を疾病予防に役立たせようと広く訴求していく考えがあり、スピルリナの持つ

た。本品は、1袋(カプセル16粒)×4袋入っており、1日の摂取目安量は、1袋を2回に分けて摂取してください。

「EOD-1」は、特許技術による独自の培養方法で、ユーグレナだけが持つ栄養成分「パラミロン」を、ユーグレナ(一種を70%以上含有している)と、光合成をさせないこと、金色の粉末になっていることも特徴の一つである。

「EOD-1」は、特許技術による独自の培養方法で、ユーグレナだけが持つ栄養成分「パラミロン」を、ユーグレナ(一種を70%以上含有している)と、光合成をさせないこと、金色の粉末になっていることも特徴の一つである。

「EOD-1」は、特許技術による独自の培養方法で、ユーグレナだけが持つ栄養成分「パラミロン」を、ユーグレナ(一種を70%以上含有している)と、光合成をさせないこと、金色の粉末になっていることも特徴の一つである。

「EOD-1」は、特許技術による独自の培養方法で、ユーグレナだけが持つ栄養成分「パラミロン」を、ユーグレナ(一種を70%以上含有している)と、光合成をさせないこと、金色の粉末になっていることも特徴の一つである。

「EOD-1」は、特許技術による独自の培養方法で、ユーグレナだけが持つ栄養成分「パラミロン」を、ユーグレナ(一種を70%以上含有している)と、光合成をさせないこと、金色の粉末になっていることも特徴の一つである。

「EOD-1」は、特許技術による独自の培養方法で、ユーグレナだけが持つ栄養成分「パラミロン」を、ユーグレナ(一種を70%以上含有している)と、光合成をさせないこと、金色の粉末になっていることも特徴の一つである。



「スピルリナパシフィカ」は、ハワイ沿岸の海洋深層水に大規模培養生産された、鉄・マグネシウム、亜鉛、銅やセレン、ビタミンB12、バナシウム

「スピルリナパシフィカ」の投与群では同じ腫瘍に対して、免疫作用を示したが、これは腫瘍に特異的なリンパ球誘致を促していると考えられる。また、メカニズムの存在が明らかになった。最終的に腫瘍内血管新生抑制、腫瘍への栄養供給の減少、CD4陽性リンパ球、CD

「スピルリナパシフィカ」の投与群では同じ腫瘍に対して、免疫作用を示したが、これは腫瘍に特異的なリンパ球誘致を促していると考えられる。また、メカニズムの存在が明らかになった。最終的に腫瘍内血管新生抑制、腫瘍への栄養供給の減少、CD4陽性リンパ球、CD

「スピルリナパシフィカ」の投与群では同じ腫瘍に対して、免疫作用を示したが、これは腫瘍に特異的なリンパ球誘致を促していると考えられる。また、メカニズムの存在が明らかになった。最終的に腫瘍内血管新生抑制、腫瘍への栄養供給の減少、CD4陽性リンパ球、CD

「スピルリナパシフィカ」の投与群では同じ腫瘍に対して、免疫作用を示したが、これは腫瘍に特異的なリンパ球誘致を促していると考えられる。また、メカニズムの存在が明らかになった。最終的に腫瘍内血管新生抑制、腫瘍への栄養供給の減少、CD4陽性リンパ球、CD

「スピルリナパシフィカ」の投与群では同じ腫瘍に対して、免疫作用を示したが、これは腫瘍に特異的なリンパ球誘致を促していると考えられる。また、メカニズムの存在が明らかになった。最終的に腫瘍内血管新生抑制、腫瘍への栄養供給の減少、CD4陽性リンパ球、CD



Image of the '生スピルリナ' product box, showing the brand name and product details.